



クミアイ

水稲用初期除草剤

サキドリ[®]EW

®はクミアイ化学工業(株)の登録商標

前に取る！
生える草は

散布後7日間
は田植えやは種を
しないでね！



ノビエ



ミズガヤツリ



コナギ



アゼナ



マツバイ



ホタルイ



ミズハコベ



アメリカアゼナ

■特 長

- 1.スルホニルウレア(SU)剤抵抗性雑草に対しても高い効果を示します。
- 2.植代時(田植7日前まで)または移植後の使用で幅広い雑草の初期発生を抑えます。
- 3.臭いが少なく、使いやすいEW※製剤です。

※EW: Emulsion oil in Water の略です。

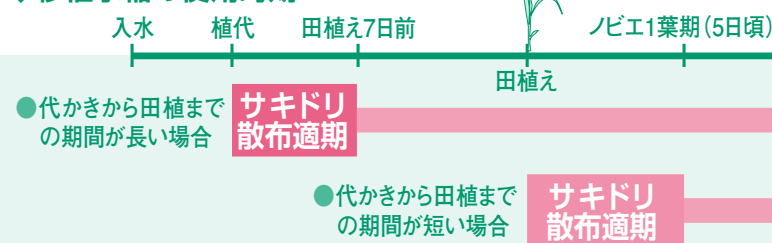
この製剤は、水に不溶な原体に乳化剤を添加して水中に微粒子として乳化分散させた類白色乳濁液体の製剤で、有機溶剤の量が従来の乳剤に比べて低く、環境負荷や引火性・薬害等の点で危険性が少なく、有機溶剤に由来する臭いも少ないのが特長です。

■適用雑草および使用方法

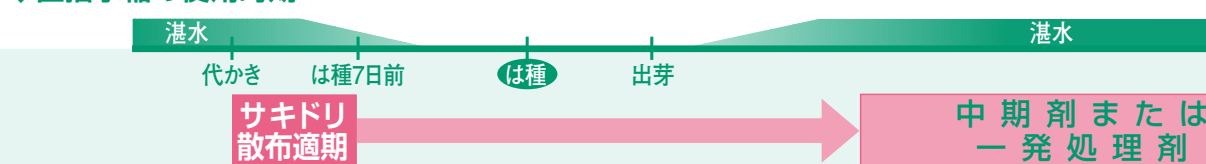
作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り使用量	本剤の 使用回数	使用方法	ブタクロールを含む 農薬の総使用回数	ペンタキサゾンを含む 農薬の総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ クログワイ コウキヤガラ	植代後～移植前7日 または 移植直後～ノビエ1葉期 但し、移植後30日まで	500ml	1回	原液湛水散布	2回以内	2回以内
		移植時			田植同時散布機で施用		
		植代時 (移植7日前まで)			植代時に原液のまま 散布し混和する		
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ	湛水直播の代かき時 (は種7日前まで)	300ml		代かき時に原液のまま 散布し混和する		
		湛水直播の 代かき後～は種前7日			原液湛水散布		

■上手な使い方 (散布後は雑草の種類や発生状況に合わせて、一発処理除草剤や中期除草剤との体系で使用してください)

◆移植水稲の使用時期



◆直播水稲の使用時期



■使用方法

<植代>

- 田面や苗の植え付けが均一になるよう、代かきをきいていって行ってください。

<散布薬量>

- 10アール当りの散布薬量は、移植水稲の場合500ml、直播水稲の場合は300mlです。

<散布時(手振り散布)>

- 水深を3～5cmに保った状態で散布してください。
- ボトルを手振りして畦畔から原液を直接散布してください。幅30m以上の水田では、中央部にも散布してください。
- 散布時に薬剤が体にかからないように、ボトルは腰の高さより下で振ってください。また、風のある時は風下からの散布は注意してください。

<散布後>

- 散布後少なくとも4日間は通常の湛水深(3～5cm)を保ってください。また、散布後7日間は落水やかけ流しを行わないでください。

■使用上の注意事項(抜粋)

- 使用量に合わせ秤量し、使い切ってください。
- 苗に付着すると軽微な薬害を生じることがあるので、移植後に散布する場合は、水稲になるべくかからないようにしてください。
- 以下の水田では初期生育の抑制を生じるおそれがあるので使用をさけてください。
 - 砂質土壌の水田及び漏水田(減水深2cm/日以上)
 - 軟弱徒長苗を移植した水田
 - 極端な浅植や深植をした水田

- クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く、遅い発生のものまで十分な効果を示さないで、有効な後処理剤と組み合わせて使用してください。
- 直播水稲に使用する場合は、出芽時に湛水条件になると薬害が生じるので、水管理に注意してください。

■水産動植物

- 魚類に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
- 藻類に影響を及ぼすので、河川、養殖池などに飛散、流入しないように注意して使用してください。

詳しい使い方、
登録内容とSDSは
こちらから。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

本資料は2023年6月現在の知見に基づいて作成されております。 2270(23-6)

自然に学び 自然を守る